曽我糠袋

全

208
66

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

曾我糠袋

全

208
66

国立国会図書館　曾我糠袋 208-66

ガラス使用

曾我糠袋叙

唐洲の人の作せし草稾を閲するに、箇人の昔曾我の曹司の事を考へ、鄙びわざ叢

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

邵子殿原年略之事。
散業年比之勇猛
佳言素貫情濃ふし。
殆妙なり。恁地一簡ふ五
衛帖の中の言語
恐く牒なる溫が如しし。須
紙墨精高豪傑雅畫を等
閑年せば寶乃山よ手
冊形しく書年等長。
苟堅形なる海南母墨

歌壇しるす。傾城の寵を
きゝ鬼王が諫言既年
やんぬ。

山東京傳誌

有序

物はゝ唐詩一句を拾とゝ。
玉の井口へ蝶乃風あるを
ゝ。情の色の道あり。
玄宗皇帝。天年あゝ。沙羅美蓮
乃。武帝。濠乃武帝。

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66
ガラス使用

[illegible]拾遺よりあまとなりたちくらひと
なりむさまをみ生れたる辻書ぐ学ともと
知をうるをそ戀のをとし。独りといへども
立明れば兼家。雖吾れ雖安住。松家
思瀬川。青簾のもとをすぎて
中川のくるまの中。概兼の顔

廊れば八文字。踏出し一襦の
れば乱れ乱れ情といひくる星中
一濃の洞に涙を晴れ中を立乃
きあ顕申も。曹国の祖父
いつのぐり心の動うさばし冊子我も
貴を伝国乃孤。今を来し

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

雲霧。玉如の角力醒し
書くもしさでつれづれ作るの如き無三ぐう
ものしるし一冊。重象新埋新
きいろふ。鼻はなびちくあひ
地年年春の如

春川

唐洲遺

内閣文庫

曾我糠袋

唐洲著述

年年歳歳曾我は新歳向。かちぬ春ふ。
[illegible]清と。敵工藤と討[illegible]ん
心顔[illegible]。東都ふ[illegible]ぬ縁書ふ。
老若男女繁榮の。利現如[illegible]
ど園寺[illegible]八幡宮。要[illegible]の風景
世ふ[illegible]宙[illegible]。
事はぬど月年這の鶴ど弁吉[illegible]の如く

内閣文庫

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

ふくさ。見物のふくさ。貴賤

其中に

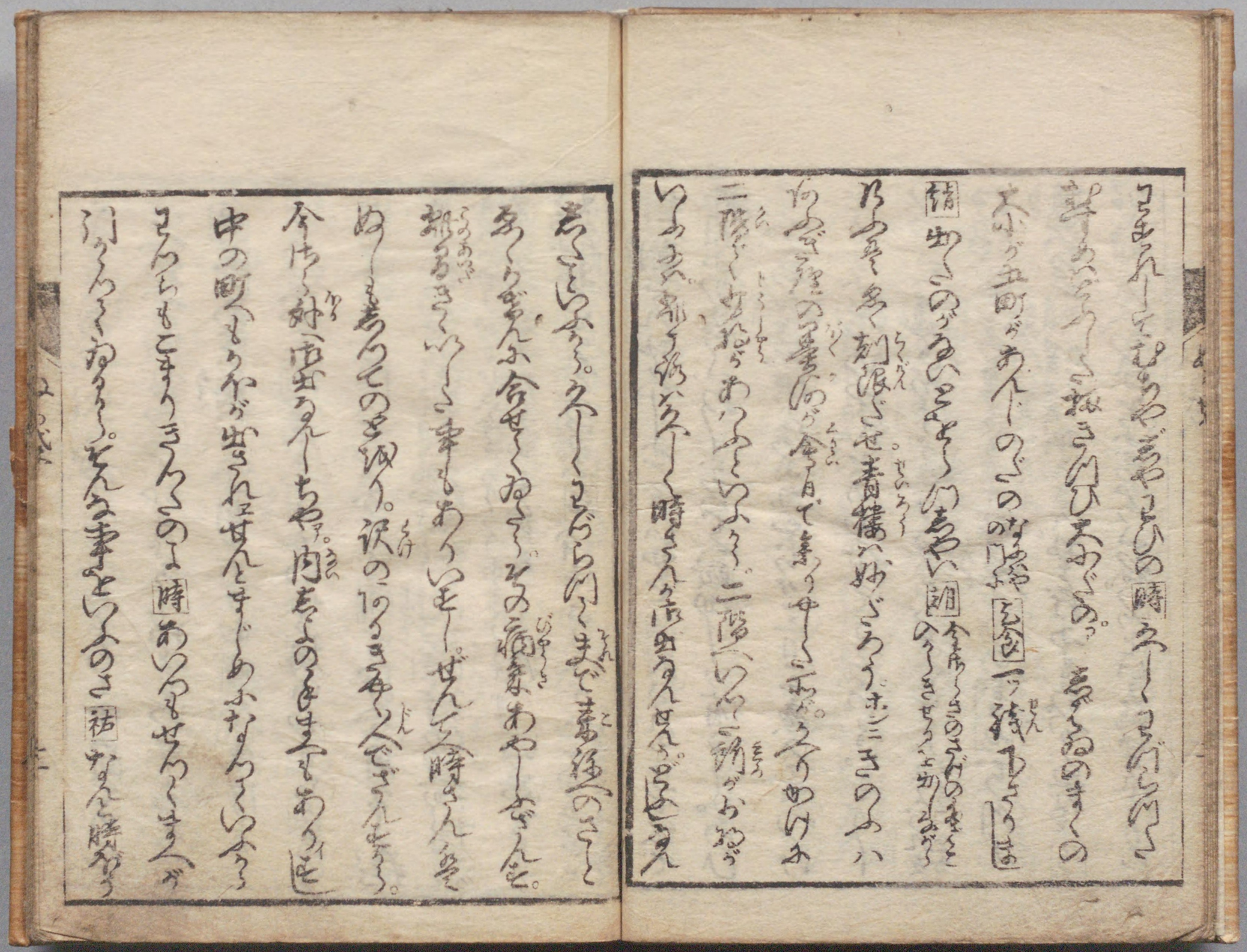
祇園ハ美仕立ふくさ。雲字のふくさ。
さあごやの大小。曙字ハ紅羽ふくさ。
羽織ふくさ。豆腐字のふくさ。
連てく賛の字乃ふくさ。とくとくは。
方ふくさ。裏門の方ふくさ。むりふくさ。胡
蝶ふくさ。りんのふくさ。ふくさのふくさ。
どんぶりの茶ふくさ。ふくさ。天地金の茶を
もち付うせるふくさ。

胡こしく祇園さんどけ祇乃ふくさ。山の下中
さいふくさ。ふくさ。自如ふくさのさ。

胡胡さん抜くしごでいやを胡胡さんの為ぬで
肩ふかりけぶ。ふくさ。あひ
てふくさ。ふくさ。ひ物ふ抜やもちぐ二日二夜の居つけ
とりふくさ。そのあ下でふくさ。
かりさ。抜きかくけでといきやせう。
あるはや胡胡の見てもそんだ茶ひの
遠ちの時胡抜きさん。抜くはあるあり抜ふ
ど時ふくさ。ふくさ。ふくさ。ふくさ。

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用



国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

朔　ちとまつ　中の所でのんで
ゆかう　朔　いつもちとまつ　やあう
祐　ものの朔　ぐらぶ用がある　時　今家帰
う　ぐさ　朔　夜ふかしてあつる　朔の
秘　そんなら　朔　てんぐ用うる　癒
あていんせる　朔　ふさ　縁　へ堂をまつる
まつ　ひ　今日のうつ　人のうげがしうる
大さんたう　つ　物見　かたち　いつあせう
といふ　まぐれ　ぬきさんたの　朔　八
ぬきさんたう　人　二人のあつ　と
あ　ぬ

う　見　八　ぬ　の　下　ぬ　初　わ　ち　祈門　田町　ぬ　ち　ず　ぬ　て　ぬ　う　ち　ぬ　と
な　ま　ま　ふ　ま　門　の　ぬ　と　ま　ふ　ぬ　ま　て　ぬ　ま　ま　ひ　ぬ　の　ぬ　ひ　う　の
ま　ぬ　ま　ま　ふ　ぬ　う　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ぬ　ま　唐　ぬ　ま　の　ま　ま　ま　時　ふ　朔　う　人　朝　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
の　ま
朔　ま
ま　ま
朔　ま
ま　ま

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

豊次郎 豊吉郎 はなしんぼうくなるこんやくと 弘 妻をこやくと
妻さの 粕 さあうどごぞうまして 朔 はて扇なんこ知るの
源 乃ちの白酒 世梅さんや世柳さんが来てる
まりこ 時 今 さっき 弱 世間ふあるさば 粕
世の重さんも一弱くごぞうまして 源 り
私ごもへ却ちろ五平まする 私ちゃん私どりのわるくて
のくらあいまして 朔 時 閉あるいろくこんる 粕 源 ハイ
伝さごさんこの 朔 世屋もわんまり赤ん屋ぐすぐこ

ノウ 世粕がわるくいぐぜ 弘 アレデモ こんど 枇杷茶湯
ぐぜ むうかるく。侍ど二人。茶色ちゃ。めんのまあっぷ。人間ちゃ四の小紬
ぎ人いろろつむぎの小紬ぐあちゃ。ちゃくなくちゃくちゃ。
まりぐぐぐのまあんぐ。ねあいねさのさしとる赤
きんちゃの付くこ。紙ちゃろこの青人さとわぐくくく 一人 コレ
山茶氏貴公乃当いせいこんさいぐこのあるこちゃくを
て申ぬ。 山本氏 すこ。 をはでこちゃこ大あそこだよ。そこ
のわくくがあくこ。 一人 こんちゃ婦人ぐ地あむ。ものこれむ。と
いっこのぐ。 山 見むくまちへ清門ぐ梅ちゃくなくこ。ぐう
ぼあいいくちの 一人 なんでもいをくが来こよ 南瓜ちゃん 字四。と云

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

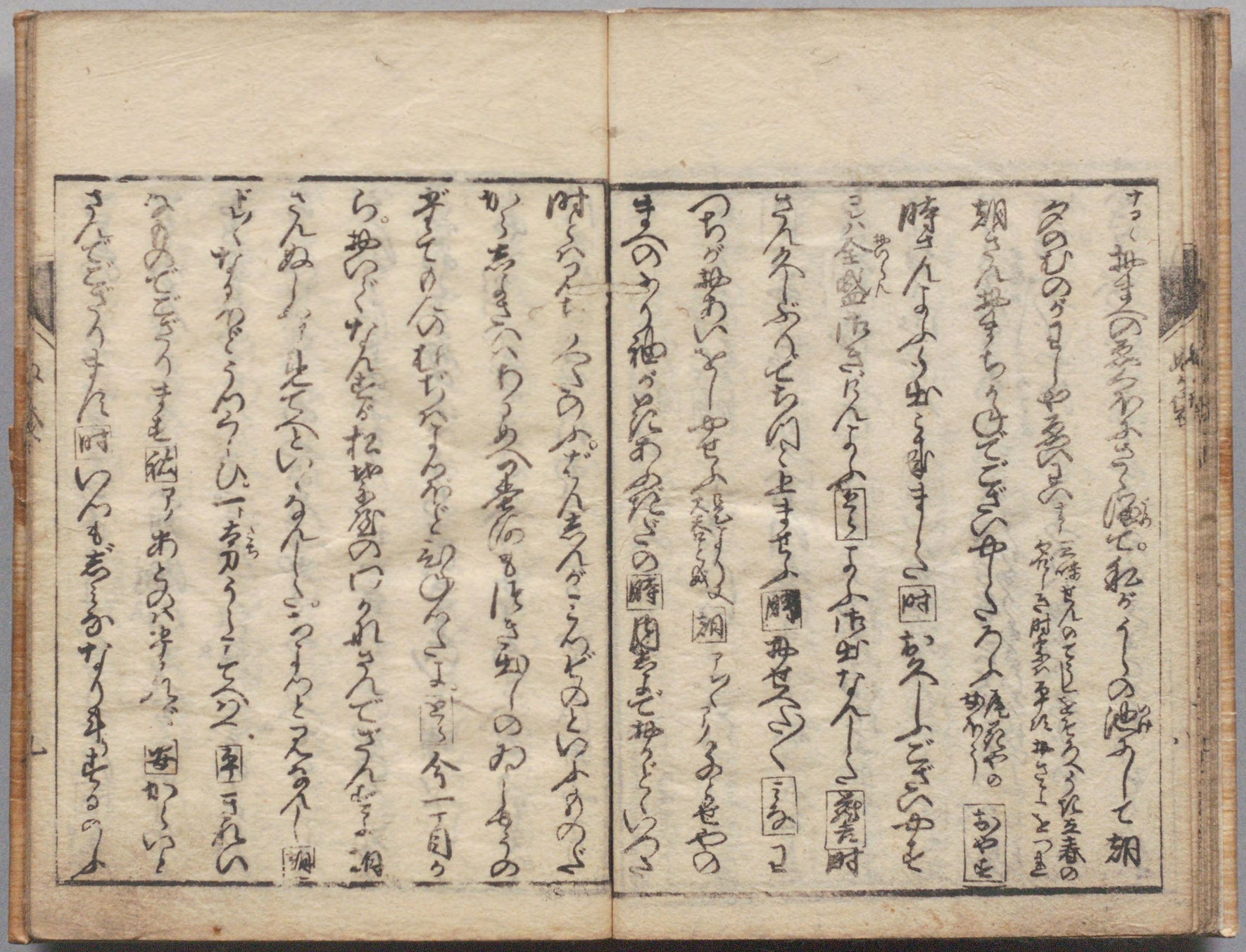
ガラス使用

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用



国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

きまぐれあくせ[平]大のきみのりごごろうまん[国]嘉
アそうへんざ見事ざのへ[那]瀬川がきんぞく切かど
みきすみ事いなくぷまのこれ該のこのこのこの川
らしひいどこふあのきを屋が切くくくくくくセちくくと
うりりひりのふなんぷかこ家がなかかの初めくくなの
ぶぜあとぐ麻のふのうちぐきのきまいいいいいいとくく
じやの屋琴るおそ来さうへアレ見きんせへ[重]の代義を
ぼうぐ屋い梅枝がりあくんくさうくおうひ[那]ちくり

あくあくあぐ弦へ[平]ひひとあくうくかくく琴くさんぐこの[那]ぶんん
ぐの手ぐ稚くんぐよ。きいくうんぐのといのくくこうぶちあかか
車よ死のきとくんくくくくく

いさ一はせよ 時 うりうりひのがいくよ 要 ひるまひ
すいまいさ とまりあて。朝ひあてとまりあて。
のさとを ろろろろ ろんさんの男あでとなるろかろと あぜん 朝
ハをうでを大きよ ハをハんさんさ中のてまく 陸 さん
ざんのろひまと地ん きるくてしやの おやかの
祐さうくはさうんと称 祐 おやさんひとをいそ
よくあいさよ。 朝 さんやとその
りうそまて地ん名んてさん 朝 かんまくりついまれさ

一陸さんの地ろんが村参 村参 祐さんいつをきるべざんをよ
祐 地ん一ふござこのやと 朝 むく寒さん 村 アイ なんで
ざんさん 朝 地ん小名ぐもさざくぐわくきろと
あぜやせよ むく ろんふ地ん名ん 朝 平ろく
ろくんでのさき祐ろんべなく祐ん世 平 サろく
朝 平 ニャ信ン ニテ シャンジリ 平 まきそのこ勝べのさせろ世
の平ふ。何のくく我いろくをとくじん。女房ろろんべ
平ん地ち平くふんさんろ 朝 ごくちろる平を

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

きぬ〜のうつくしさとなんしさく。扨ほかにてこいもの。又中の所でもせうしくなる。ぬーの姿をみうしなんしさくなる〜と。扨きてあんしさく。一丁目で大事が出来ア者のちふさんせうまぐ大ぜ〜がざんをいひそこなひてこうしでてきをうしなひ。モシ扨体なんしさく。ひりのさサア扨やきこなかり

社 そのあとをいろいろ祭つぐそうまつ。むこ聟さんの事と時がくれば。

ロウ 十二月一番だうりいつくしきまつふさんをうく〜

ゆうふしてまつふしぶむ聟さんいつをあらけなあざんを後。

社 又ためのゆるうへ毎りが。大いをふたりえあるとのうロウ 度毎りあぐれが

きやしぶ〜ソロひいときぐとと月をあんちゃ

扨うなんしホンニぬしさ扨いぐなんしこのハ十日

の日でざんをよ。体のむりごと朔日ふかとこへ

あやまこ三ぜ三体せんを扨ぐこてあ

なんしうをいし。あるひなようかんぐ

[illegible]

だくさんもよ。[illegible]コレ あやまり いろそ
いてくださんせよ。[illegible]コレ あやまり 油とあて 殿の
してくださんせ。[illegible]だんなさひてくさるな
かくさ 当あるや町のなりふちんがらを 拙さうでせ
[illegible]あやまり そよいつ事 あるそざんせ ひぎしび
そあるこそ[illegible]といよ[illegible]せきの[illegible]せきあ 胡さん 拙い
らんがこの[illegible]しくさ[illegible]ゆ[illegible]しくいそ[illegible]

コレ そけいくのいそ[illegible]ちや[illegible]千おさんが
[illegible]しくやてくるや[illegible]あやまり コレ せきのやそうちへ[illegible]
やちやさんき 杜 [illegible]ふ 来がさんがきそいきちん
[illegible]とそういや せきの そうしいくせふとぞりけまりて [illegible]
[illegible]胡さん[illegible]ふ[illegible]ひるを 拙さんなん[illegible]
て孫方 [illegible]さんとあやつふんげ孫ちくさ 胡 拙
いさんやい拙 来の [illegible]ゆ きあんさん 胡 [illegible]
[illegible]ゆ[illegible]でこ[illegible]せんせ孫ちんだ[illegible]

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

孫へ〔琴〕さんそれはいろ男でいろとおさへあるよ
ワヽエテイさへ。ラヤぬしののんきさつゆの丸さつ。さ
内ちらが関のきむく人よひい孫もでむかふのみ前が
孫いさを生しさむしき世りかゝ相琴が
きんとゝ初り豪のまとして〔須〕時さんへ
相撲しさんと世が世のきんが来まく世られし
なんしと〔時〕アイ今いきやせう。今おとな モウ
ハツぶろう よつひるが相琴が さしきのいりロう〔時〕世のきん何でござ
いるぞ〔琴〕時さんへこへはるなんし〔時〕アイ今

夜へ世のきんの世さなくりへ〔琴〕引かまへて隠しそ
世まひいー ふあんまりさひしふさんはいうつびふ
あさまやいしごうらひ時ふ相おやま世たりしなん
し〔時〕ナアニそんで事よ思ふ部じや孫へがえん
ぬくさへきまいまりのさ〔琴〕お於さんでもきまい
でさんたへ〔時〕アイ孫の事はきんおきさしきさ。時
おゆるひろめさあり世へすくせいさ孫へ〔琴〕そく
久よくでさんまち孫へ。さしの裏の身と中といしさ

むりしてはいけない。その後も[illegible]
一度せーまいと。時宗がいろいろ[illegible]
五でこと二丁目のせりくらが[illegible]
[illegible]そこへんと[illegible]
なんと時宗うまいと[illegible]

[琴] 時さんぜっこうそこらちが[illegible]
[時] 抑いんこうちをぶそこらこと[illegible]
抑けなさいませ[琴] なるほど見わたしやすい
ふうこうひなんをうつ[illegible]
て抑[illegible]

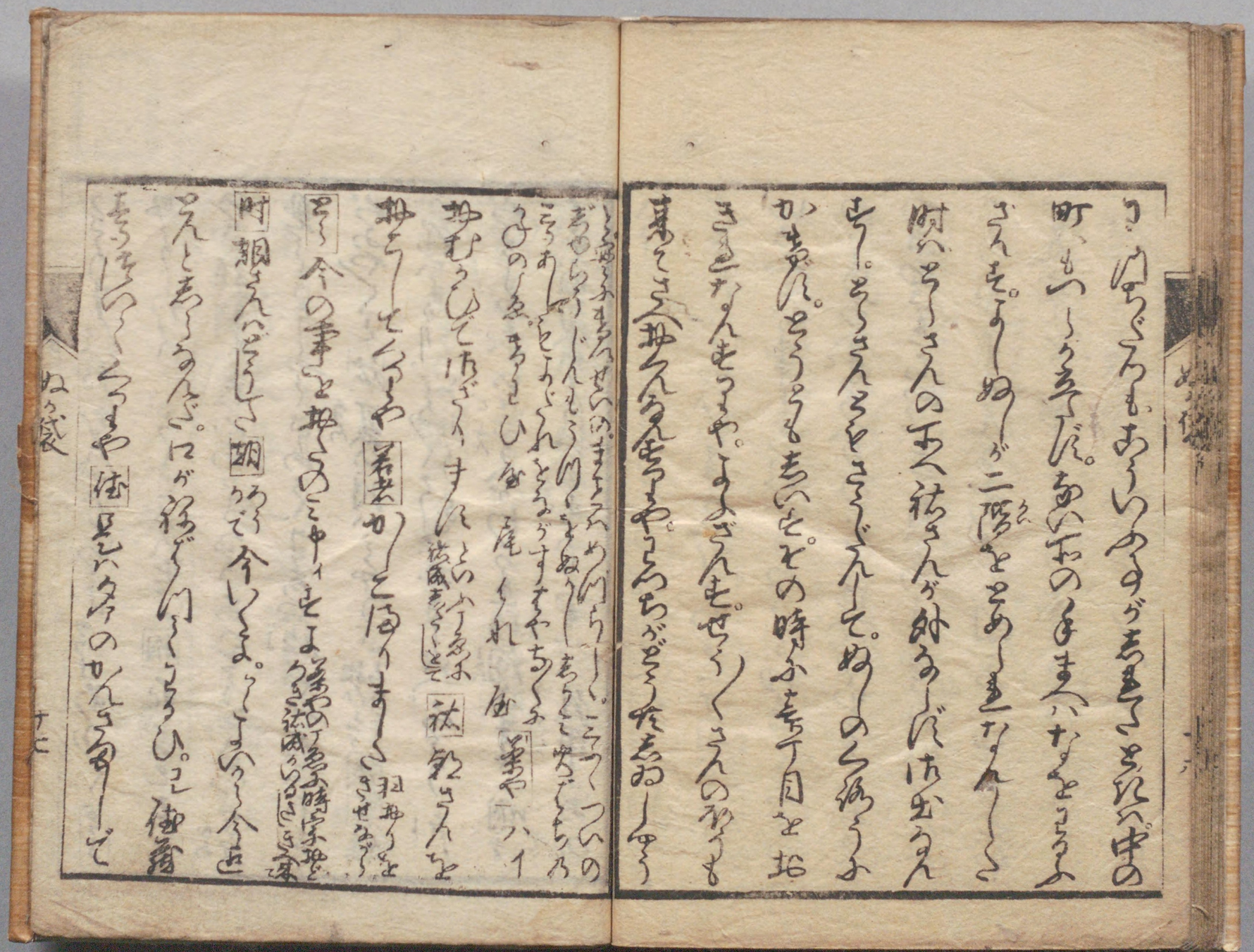
[琴] 時さん抑[illegible]
[illegible]

[illegible]
[時] 抑[illegible]何どといわ
[illegible]
いきまぶ事と思れふ[illegible]
ぬーのわへまちへのんでも抑[illegible]
つき出さまちや。三丁目もつくが出れば[illegible]
こうちでも。そんなのかりくらあも切らまや
せん。[琴] そこらこうちぶくらびなんも
むりしてもぶんをわへぐよくなんくてもえんも。

十六

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用



国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

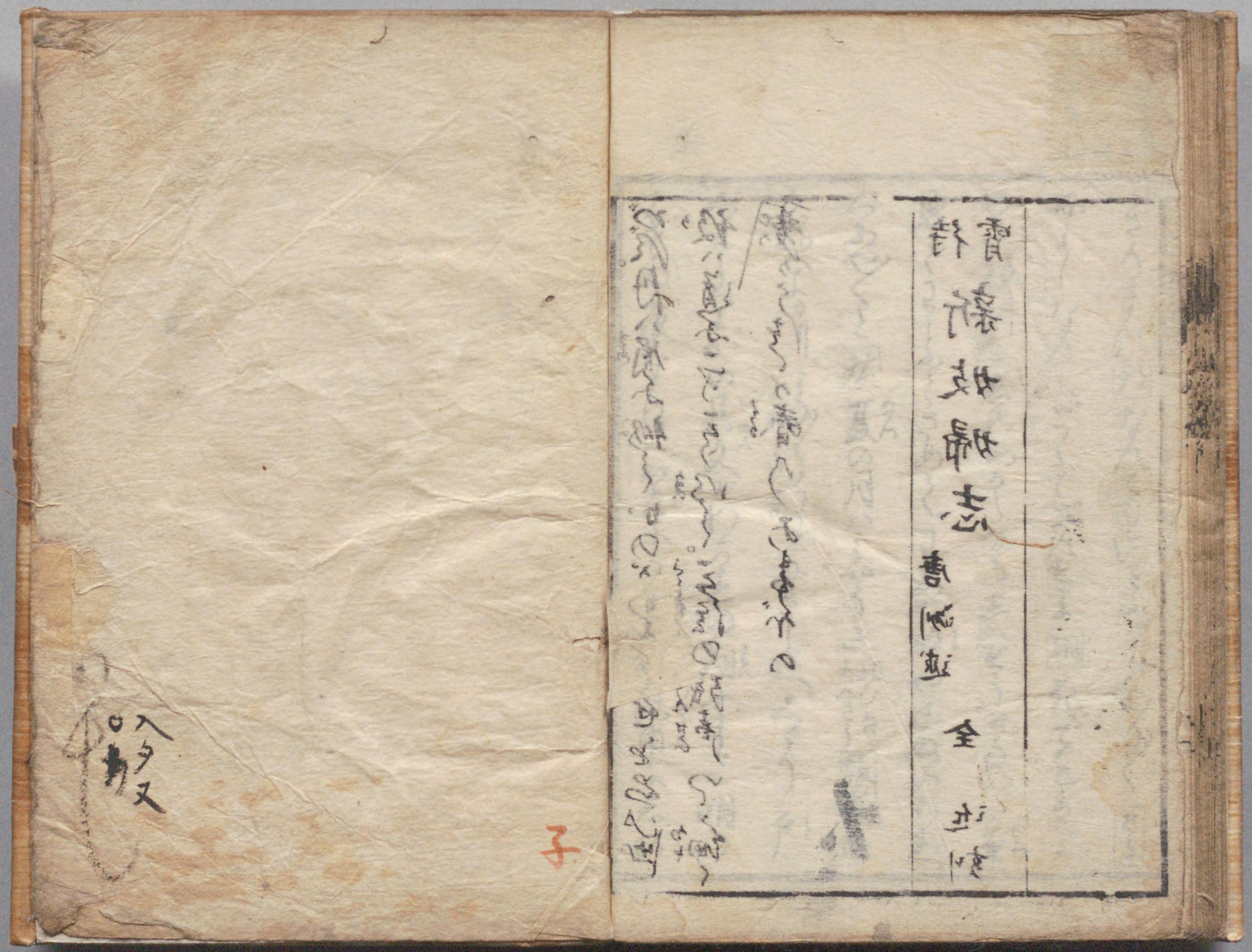
208
66

ぞうまん 紅 なんでとはいふよりあり く
扨ようなん。どうでざんせよ 湖 死でもとる く
のさ 長年 裏の角の時 高あらうあるきたべうぞ。ふつうぞ
見くるうふくさあく。ぞうや酔やせぬよわも
ぐあやくと 法 裏の月ばらあくぐ 湖ひろう ちんさう 張前 花
う稼くよりり。こうみくちどと 扨ようる。 ぐ扨こうべ。こぐう戸
ぐうこうこう。かの異文がりうの月の湖ふすぐ 湖う
ちちの夜なりれば。ぞうふうまびぐ張市ト志の

ぐ。月ハ屑ふ湖くかのがかんぐ世をあ人世
殺ハ道ふこうこうりく。こう張の張声ぐう湖く
夢のうちちくの春りあまぐのの

待宵新妓婦志　唐洲述　全　近刻

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66
ガラス使用



国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

208
66

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用

国立国会図書館　曽我糠袋 208-66

ガラス使用